

大規模太陽光発電施設の建設に対する反対決議

現在、春日・大西・菅生・広代地区にかかわる大規模太陽光発電施設の建設が計画されており、地区の住民は、建設に対し反対をされている。当村議会にも4地区より建設計画反対の支援要望書が提出され、多くの住民がこの建設に対し非常に危惧されている。

開発面積が約81ヘクタールと広大であり、緑のダムと言われる森林を伐採することで森林の水源かん養機能が失われ、集中豪雨による土砂災害や水害のリスクが高くなることが予想され、また、下流には春日、大西地区の水道の水源があり水質の汚濁、枯渇等による水道への影響も懸念される。

さらに、太陽光発電事業は参入障壁が低く、様々な事業者が取り組むだけでなく、事業主体の変更も行われやすく、発電事業終了後、あるいは事業継続が困難になった場合、太陽光設備が放置されたり、現状回復されないといった懸念もされる。

今後、地区住民の同意が得られないまま、太陽光発電施設の建設が行われることになれば、山添村議会としても、これを看過できるものではない。

よって、山添村議会は、住民の安全と安心を守るため、地区住民の同意の得られない太陽光発電施設の建設には反対するものである。

令和元年12月17日

山 添 村 議 会